

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. まち・ひと・しごと創生総合戦略とは | P 2～3 |
| 2. 5つの基本目標 | P 4～8 |
| 3. 総合戦略に基づく代表的な取組事例 | P 9 |
| 4. まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について | P10 |
| 5. 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略について | P11 |





まち・ひと・しごと創生総合戦略とは①

総合戦略策定に関するこれまでの動き

H26.11	<p>【国】 人口急減・超高齢化という直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置。</p>
H26.12	<p>【国】 50年後に1億人程度の人口維持を目指す「長期ビジョン」、人口減少を克服し将来にわたって活力ある日本社会を実現するための5か年の計画を示す「総合戦略」を閣議決定</p> <p>【塩竈市】 国の流れを受けて、本市の最大課題である人口減少克服や地域経済の発展への課題解決に向けて、全庁的に取り組むために塩竈市長を本部長に置く「塩竈市まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置。</p>
H27.7～	<p>【塩竈市】 推進本部をはじめ若手職員で構成する「ワーキング・グループ」、有識者で構成される「まち・ひと・しごと創生懇談会」において、多角的な視点からの検討、幅広い意見聴取を実施。</p>
H28.3	<p>【塩竈市】 計画期間をH27～H31年度までの5か年間とする、「塩竈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定</p>
H28.4～	<p>【塩竈市】 「総合戦略」において設定された数値目標やKPIの達成に向けた各種施策に着手。 総合戦略の方針を基に、地方創生推進交付金を活用した施策等の実施 ①塩竈市アフタースクール事業(平成30年度まで)、②塩竈水産品ICT化事業(令和元年度まで)</p>

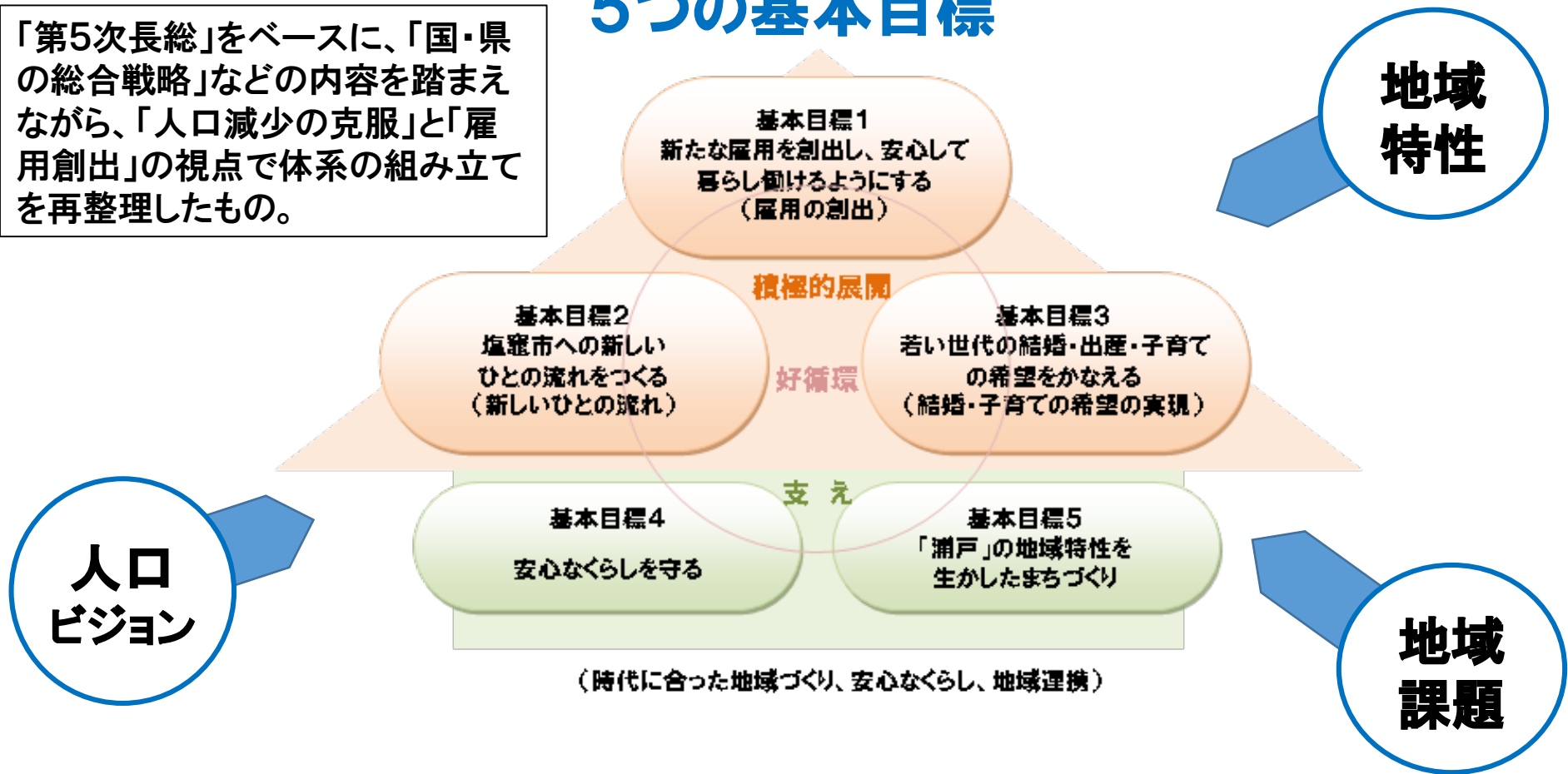




まち・ひと・しごと創生総合戦略とは②

「第5次長総」をベースに、「国・県の総合戦略」などの内容を踏まえながら、「人口減少の克服」と「雇用創出」の視点で体系の組み立てを再整理したもの。

5つの基本目標



基本目標1 新たな雇用を創出し、安心して暮らし働けるようにする(雇用の創出)

人口減少に歯止めをかけるには、生活基盤となる「しごと」づくりが最重要課題

⇒ ⇒ ⇒ 職住近接が可能な本市における地域産業の強みを最大限に生かすとともに、本市の地域特性や地域資源の有利性を活用して起業の促進を図るなど、多様な就業機会を創出

施策の方向性

- ① 地域経済を支える基幹産業の振興
(水産業・水産加工業の振興)
- ② ブランド構築と企業誘致の促進、起業支援
- ③ 地域産業の競争力の強化
- ④ 働いてみたい魅力的な就業環境の整備
(若者・女性・高齢者の就業支援)
- ⑤ 産業活動のためのインフラ整備



新たに整備した魚市場

基本目標2 新しいひとの流れをつくる(新しいひとの流れ)

「塩竈」のまちの活力を維持・強化し、新たな価値の創出を図る

⇒ ⇒ ⇒ 他にはない本市ならではの個性を最大限に活用し、仙台市や近隣市町との連携を有効に生かせる交流機会・就業機会の創出や情報発信と併せ、人材の地元定着や市外からの定住促進に取り組み、流入人口の確保と交流人口の拡大を促進

施策の方向性

「オンリーワンの魅力を持つまち」の発信

- ①「活気あふれる港町」づくりによる魅力の発信
- ②「歴史と文化が薫る門前町」づくりによる魅力の発信
- ③「海の見える丘のまち」づくりによる魅力の発信
- ④ 広域都市圏との連携



みなと塩竈・ゆめ博



門前町らしい歴史的・文化的景観

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる(結婚・子育ての希望の実現)

「塩竈」のまちの活力を維持・強化し、「塩竈」の新たな価値の創出を図るためには、新しい人の流れをつくり、特に若い世代の流入や定着を促進し、バランスのとれた世代構成の確保が重要課題

⇒ ⇒ ⇒ 若い世代が「住んでみたい」と思うような、憧れを抱かれるまちを目指し、安心して家庭を持ち、子どもを産み育てられる環境を整備

施策の方向性

- ① 子育て世代の仕事と生活の調和の実現
- ② 安心して産み育てられる環境づくり
- ③ 若者世代の結婚・子育てへの意識啓発
- ④ 特色ある質の高い学校教育の推進



わくわく遊び隊



中学生と赤ちゃん
ふれあい交流事業

基本目標4 安心なくらしを守る

「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活力創出を図る

⇒ ⇒ ⇒ 市民満足度の高い施策を展開するとともに、「塩竈」のまちづくりに関わる市民や団体との交流や連携を促進し、「塩竈」の魅力の再発見と市民としての誇りの醸成を行いながら、市民が心豊かに安心して住み続けられるまちづくりに取り組む

施策の方向性

- ① 地域ぐるみの健康と生きがいづくり
- ② 歴史と文化を活かした生涯学習
- ③ 「ふるさと」と触れ合う学習の推進
- ④ 安心で利便性の高い生活環境の整備
- ⑤ 将来に向けた持続可能な市政運営の確立



H29年度から
運行を開始した青バス



ダンベルサークル・脳元気教室交流会



千賀の浦大学

基本目標5 「浦戸」の地域特性を生かしたまちづくり

浦戸諸島の個性豊かな地域特性を強みとして生かし、交流の場や定住の地として積極的に情報発信を行い、島内外の連携を大切にしながら、深刻な人口減少の課題に対応し、島民のニーズに沿った島民本位の生活が維持できるよう、満足度や関心度の高い地域づくりに取り組む

施策の方向性

- ① 潤いと魅力、活力あふれる島づくり
 - ・ステイ・ステーションでの漁業・農業の担い手育成
 - ・浦戸の特産品を活用した6次産業化の促進
 - ・浦戸の魅力を活かした様々な体験交流事業の展開 など



浦戸ステイ・ステーション



がんばる浦戸の母ちゃん会

総合戦略に基づく代表的な取組事例

塩竈アフタースクール事業

○shiogma こどもほっとスペースづくり支援プログラム○

子どもの貧困や子どもがひとりで過ごす時間・孤食など困難な状況を支援するための「放課後の子どもの居場所づくり」を推進。居場所づくりを行う団体に対して助成金を交付。

例：子どもカフェ（宿題、おやつ、読み聞かせ）、自然体験（防災キャンプ、ハゼ釣り）、子ども食堂等



清水沢東子どもカフェ

○わくわく遊び隊○

指導講師を招聘し、小学校の放課後に運動要素を取り入れたレクリエーション活動等を行う。各校PTA 役員、ボランティア団体、体協加盟単協所属員等が、指導支援員として活動を補助。



第三小学校わくわく遊び隊

塩竈水産品ICT化事業

本市で製造される水産加工品のデータベース化等を行うことにより、流通の効率化・販路拡大を図り、水産加工業の振興に取り組む。

また、商談会や各種フェアを開催し、新たな商品開発や販路拡大等につなげる



レストラン&バー香港2018



まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

令和元年
3月

塩竈市のまちづくりの将来ビジョンである「第6次長期総合計画」と一体的に策定するため、国の第2期戦略を意識し、新たな視点を盛り込みながら、計画期間の1年間延長を行った。

計画期間	2015年度～2019年度までの <u>5カ年</u> ⇒ 2015年度～2020年度までの <u>6カ年</u>
人口ビジョン	目標人口については、現状維持とし、各種データについては、直近の国勢調査や社人研の推計値等を反映させた。
総合戦略 数値目標・ KPI	国の次期総合戦略を勘案し、 <u>「society5.0」や「人材育成」といった新たな視点を盛り込み、本市の次期総合戦略への円滑な橋渡しとなるよう、内容の一部見直しを行う。</u> 数値目標・KPIについては下記の考え方を基本とし、新たな視点に基づくKPIの設定についても再設定を行った。

今後

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、長総審議会や市民ワークショップ等が十分に開催できない状況を鑑み、次期長総の策定が1年後に見送りとなった。総合戦略についても次期長総と一体的に策定するため、さらなる1年間の期間延長を行う。





次期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

次期総合戦略については、これまでの「総合戦略」5つの基本目標のさらなる深化を図るとともに、国の第2期「総合戦略」から新たに組み込まれる、「地方へのひと・資金の流れを強化する」、「新しい時代の流れを力にする(society5.0等)」、「人材を育て活かす(追加)」、などの視点を踏まえ、地方創生による「人口減少の克服」や「雇用の創出」などに向けた重要な柱として、まちづくりの将来ビジョンである「第6次長期総合計画」と一体的に策定する。

計画期間(案)

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
長期総合計画		終期	延長	第6次長期総合計画(基本構想) ※基本計画期間については必要に応じて見直しを行う								
地方創生総合戦略	終期	延長	再延長									

→ **一体化**

第6次長期総合計画と一体的に策定

※第2期の終期は国の戦略に合わせる

